

事業名称	
事業名	道路改築事業
整理番号	24-4
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備
市町村名	諏訪市
箇所名	諏訪市 大熊
事業年度	平成23年度～平成30年度
事業概要	
目的	道路整備による地域間連携交流の強化、また観光道路として諏訪湖・諏訪大社等を結ぶ。
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 延長L=1.2km 道路幅員W=11.0m 車道幅員W=6.5m
関連する事業計画	一級河川 新川改修工事(諏訪市、平成22年度～平成30年度)
その他特記事項	特になし
関係法令等の規制	
自然環境保全地域等の指定状況	なし
土地利用規制の状況	農地法の農地または採草放牧地
その他	なし
環境要素	
環境配慮の方針	
大気環境	資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。 交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。 有害物質の使用、保管等の管理を徹底する。 土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。 排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。 悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。 悪臭原因物質の使用、保管等の管理を徹底する。
水環境	上水道などの水源地近傍への立地は出来るだけ避ける。 農薬を使用しない又は使用量を削減する。 チェーンソーを使用する際は生分解性チェーンオイルを使用する。 地盤改良は適切な薬液を選定し、必要最低限の薬液注入範囲とする。 水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点及びすでに汚染が著しい地域等への排水を出来るだけ避ける。 工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 水田や地下水・湧水を保全する。 地下水を使用しない又は使用量を削減する。
地形・地質	地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。 工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。 工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。 工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。 法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。
野生動植物	自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。 水際部を保全し、自然植生の連続性を確保する。 回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。 回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。 表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。 自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。
景観	周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。
自然とのふれあい	不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変を出来るだけ避ける。 遊水施設やせせらぎ水路、池、親水護岸、階段や飛び石など水辺空間の整備に努める。 河川、水路などの暗渠化は避けるよう努める。
廃棄物・建設残土	建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。 信州リサイクル認定製品の利用を推進する。
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。
日照障害・光害	日照障害が生じないように施設の配置や構造、形状等に配慮する。 照明の設置にあたっては照明の範囲、時間、照度、光源種類などに配慮し、周辺の生活環境や野生動植物、農作物等への悪影響を低減する。

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	大気環境	想定される影響又は環境配慮の方針について、「騒音、振動の防止」を追加してください。	本バイパス計画は住宅地域内を迂回する計画であり交通流の円滑化を図り、住宅地域の騒音、振動は低減されます。 また本工事においては騒音、振動を発生する工法を避けると共に低騒音・低振動の建設機械を使用するよう配慮します。
2	野生動植物	諏訪市では、県版レッドリストで絶滅危惧IA類のミズアオイ(ミズアオイ科)が、確認されています(最終調査年:1999年)。 道路築造工および河川改修においては、施行区内のミズアオイの有無の確認と、周辺のミズアオイ生育地の改変を生じないよう配慮してください。	ミズアオイについては、本工事着手前に確認作業を行います。また、確認された場合は、生育の影響について十分配慮します。
3	野生動植物	諏訪市では、県版レッドリストで絶滅危惧IB類のメダカが確認されています。 河川改修においては、メダカの有無の確認と、メダカに負担の少ないよう配慮してください。	メダカについては、本工事着手前に確認作業を行います。また、確認された場合は、生息の影響について十分配慮します。